

平成24年度の私は、青森YEG会長を務めながら、日本YEG東北ブロック代表理事、東北ブロック会長、青森県連顧問を兼務しました。これらの活動を通して、日本、ブロック、県連、単会という4つの組織の連携がまだまだ弱いこと実感しました。同じYEGであるにも関わらず、各々の活動に統一感が不足しているように見えるのです。

この理由はどこにあるのかを考えてみたのですが、例えば自分の単会のどこにも出向していないメンバーに今年度の日本YEGのスローガンを尋ねて、何人が答えられるでしょうか？おそらくほとんどの人が答えられないと思います。これは一例にすぎませんが、おそらく一般の単会メンバーが単会以外の組織のことに日常的に触れる機会と言えば、会議の場などで報告事項として聞く時くらいではないでしょうか。

日本YEGでは平成24年度に規約改正案が承認され、原則として各都道府県連の会長を日本YEG役員候補者とし、かつ都道府県連代表理事とすることになりました。このことは、日本YEGと各都道府県連のつながりをより強固にするものであり、多いに期待される場所です。今までの状況を見ると、日本YEGと各ブロックとは強いつながりを保っています。それは、各ブロック会長が日本YEGのブロック代表理事としてダイレクトに意見を言える立場によるところが大きいと思われます。今後は、都道府県連代表理事が、都道府県連の声を日本YEGに届ける役目を担ってくれることになるでしょう。

しかしながら、これで日本、ブロック、都道府県連の連携は強化されますが、単会の意識にまでは変化が及ばないと思われます。これからの4つの組織のシームレスなつながりを考えた時に、単会の一般メンバーにいかに関係外の組織のことを浸透させるかが重要なポイントになります。せめて、単会以外の組織がどのようなスローガンに基づいて活動しているかを知ってもらいたいところです。

そこで個人的な提案ですが、日本、ブロック、都道府県連、単会の各々の今年度スローガンを、全国の単会の例会や理事会の際に掲示したり、資料の冒頭に印刷したりすることにより、単会メンバーの目に触れる機会を作ってはどうか。すぐには効果が現れなくとも、単会以外の組織ではどのようなスローガンで活動しているかを知ることにより、多少なりとも統一感は醸成されていくものと思われます。

また、そのスローガンに関しても、本来であれば日本YEGのスローガンに基づいて、ブロック、都道府県連、単会の順にスローガンが作られていけば、より統一感の強い活動体制が作られると思います。現状では、4つの組織が別々に考え、ほぼ同時に3月の各々の総会でスローガンを承認されているため、時間的に難しいものがありますが、スローガン（案）として、日本→ブロック→都道府県連→単会と伝達していく流れを作れば、日本YEGの基本姿勢が単会にまで反映される一助になるのではないのでしょうか。

日本YEGは9ブロックの連合会としての色を強め、各ブロックからはブロック代表理事に加え、構成メンバーである都道府県連から都道府県連代表理事も輩出することにより、より全国の声を集めやすい体制が実現できる今後は、単会との連携強化が最も重要な課題になると思われます。今後のYEGの更なる発展を祈念します。